

Photo Essay



ガンジス河の朝 VARANASI (ヴァラーナシー) / インド 撮影・文 / 日下部芳志

早朝対岸から昇る朝日を拝み、母なるガンガー（ガンジス）の愛に抱かれて、沐浴する。老若男女、貧富、清濁、そして死でさえも、この河は悠悠と飲み込んでくれる。ヒンズー教徒が静かに死を待つ聖地。

2000年 秋